



研究・開発のための電気化学

リチウムイオン二次電池研究開発の最前線～さらなる進化を目指して～

日時：2023年11月22日(水) 10時00分～17時40分

形式：オンサイト・オンライン ハイブリッドセミナー

オンサイト会場：東京理科大学 神楽坂キャンパス 1号館17階記念講堂 (Zoomによる同時配信を行います)

カーボンニュートラル社会の実現を目指して、中国や欧州を中心に電気自動車急速に普及してきています。現在電気自動車の駆動電源としてはリチウムイオン二次電池(LIB)の独壇場になっています。一方、エネルギー密度は限界が見えてきており、LIBの需要の急拡大に伴い、資源の確保やコスト上昇の問題も顕在化してきています。

本セミナーでは、リチウムイオンを駆動源とする蓄電池のさらなる進化を見据えた最先端の研究の取り組み及び資源問題についての今後の展望について、産学官からの講演者に登壇いただきます。リチウムイオン電池研究開発に興味をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

(10:00～10:05)

◎開会の挨拶

(10:05～10:50)

1. 液系リチウム硫黄電池の課題と電解液最適化による実用化へのアプローチ

横浜国立大学 獨古 薫

(10:50～11:35)

2. 硫黄変性ポリアクリロニトリル“SPAN“の開発と液系・固体系Li-S電池への応用

株式会社ADEKA 攪上 健二

(11:35～12:35)

昼休み

(12:35～13:20)

3. 硫化物系固体電解質の量産化に向けた液相合成技術

産業技術総合研究所 蒲生 浩忠

(13:20～14:05)

4. 日産自動車のバッテリー技術の進化

日産自動車株式会社 安田 博文

(14:05～14:20)

休憩

(14:20～15:05)

5. 有機分子に蓄電する軽量・高容量電池

産業技術総合研究所 八尾 勝

(15:05～15:50)

6. Li空気電池の劣化機構解明とサイクル寿命改善へのアプローチ

物質材料研究機構 松田 翔一

(15:50～16:05)

休憩

(16:05～16:50)

7. クレイ型リチウムイオン電池の開発と今後の技術展開

京セラ株式会社 三島 洋光

(16:50～17:35)

8. 車載用リチウムイオン二次電池市場動向、並びにリユース・リサイクル動向と展望

株式会社矢野経済研究所 田中 善章

(17:35～17:40)

◎閉会の挨拶

主催 電気化学会

協賛(予定)：応用物理学会、日本化学会、高分子学会、日本分析化学会、日本MRS、
日本材料学会、自動車技術会

